

環境活動レポート

対象期間

2016年4月～2017年3月

承認	確認	作成
三宅	山本	森寺
代表者	環境管理 責任者	環境事務局

アサヒ金属株式会社

平成29年4月1日作成

アサヒ金属株式会社

環境方針

アサヒ金属株式会社は、環境基本法を遵守すると共に事業活動における環境保全の継続的改善と、社会への貢献をするためここに環境方針を定める。

1. 当社の事業活動が環境に与える影響を的確にとらえ、環境負荷低減を遂行するために仕組み・組織体制を整備し実行する。
2. 環境負荷低減の継続的な改善を図り、汚染防止を推進する。
3. 環境関連の国内法・条例・協定を遵守する。
4. 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の削減と廃棄物の減量化・リサイクルと総排水量抑制を推進する。
5. この環境方針のもとで環境負荷の低減目標を定め、環境保全活動を推進する。
環境目標は定期的に見直しを行う。
6. この環境方針を円滑かつ効率よく達成するため社内規定を整備すると共に従業員への環境に対する意識付けの教育を行う。
7. これまでの受身からの脱却
8. 環境を通じて会社利益を生む。

— この環境方針は、社外の人にも公開します。 —

2010年 8月 1日

アサヒ金属株式会社

代表取締役社長

1. 会社概要

(1) 事業者名

アサヒ金属株式会社

代表取締役社長 三宅 一彦

(2) 所在地

本社 岡山県都窪郡早島町矢尾 802

邑久工場 岡山県瀬戸内市邑久町向山 110-1

丸亀営業所 香川県丸亀市土器町北 2 丁目 115

松山営業所 愛媛県松山市久米窪田町 169-1

鳥取営業所 鳥取県鳥取市千代水 2 丁目 115

米子営業所 鳥取県米子市大篠津町 3320

倉吉出張所 鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留 145-2

姫路営業所 兵庫県姫路市白浜町宇佐崎中 1 丁目 25

豊岡営業所 兵庫県豊岡市神美台 157-31

広島営業所 広島県広島市佐伯区五日市町上河内 538-1

九州営業所 佐賀県鳥栖市真木町赤江 1113 番地

関東営業所 埼玉県越谷市花田 1 丁目 15 番 16 号

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 総務課部長 山本 浩

担当者 企画課副部長 森寺 啓一

連絡先 電話 086-292-5727 FAX 086-292-5738

電子メール pjt-b@asahi-metal.co.jp

(4) 事業規模

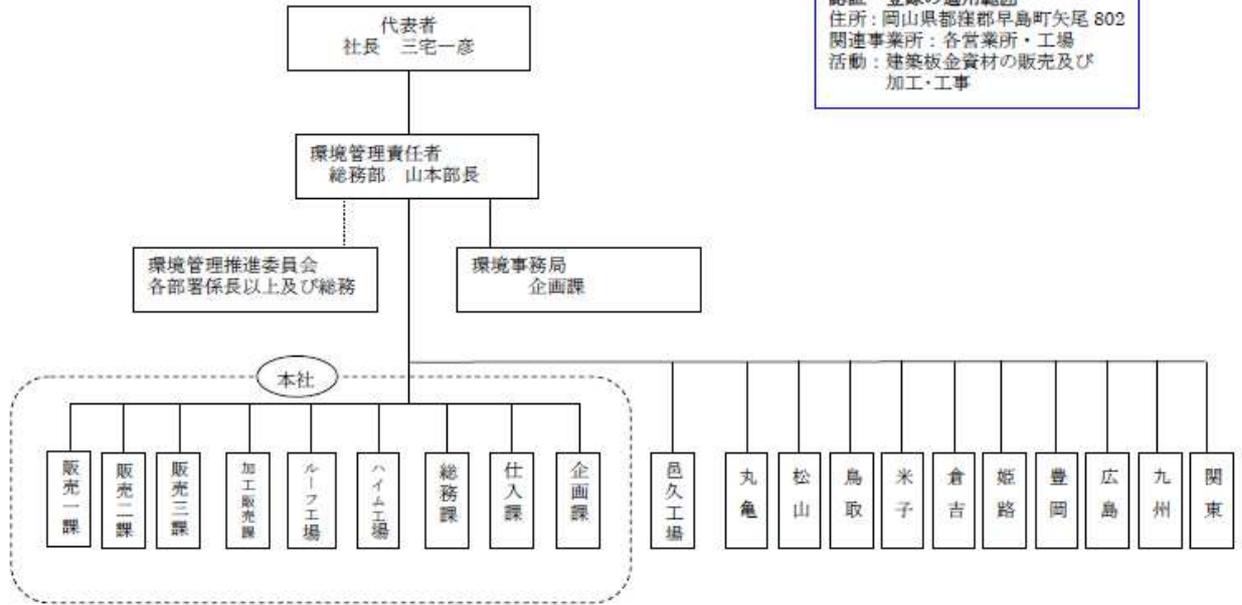
資本金 3 億円

事業内容 建築板金資材の加工及び卸売

従業員数 106 名

本社	37 人	倉吉	3 人
邑久	23 人	姫路	3 人
丸亀	3 人	豊岡	6 人
松山	6 人	広島	3 人
鳥取	7 人	九州	4 人
米子	7 人	関東	4 人

認証・登録の適用範囲
 住所：岡山県都窪郡早島町矢尾 802
 関連事業所：各営業所・工場
 活動：建築板金資材の販売及び加工・工事



役割・責任・権限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間能技術者を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標の設定を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムを構築し、実施し、管理 法規制等の要求事項登録簿を承認 環境活動実施計画書を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、E A 2 1 推進会議の事務局 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 「環境関連法規等チェックリスト」の作成 環境目標・環境活動実施計画書原案の作成 環境活動実施計画の実績集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長・所属長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

2.環境負荷実績と環境目標

2.1 環境負荷実績

項目		2015年	2016年
二酸化炭素排出量	総排出量	711,173kg-CO ₂	695854kg-CO ₂
	電力	589,909kwh	538,110kwh
	ガソリン	24,804L	26,108L
	軽油	94,193L	88,747L
	灯油	868L	761L
一般廃棄物排出量		8.885t	8.890t
産業廃棄物排出量		40.701t	25.1214t
水使用量		1,429 m ³	1243 m ³
化学物質購入量		3,574kg	3156kg
グリーン購入		無し	4品目増加 (トラック買替)

※電力の二酸化炭素排出量換算値

部署	電力会社	実排出係数 kg-CO ₂	電力使用量 Kwh	二酸化炭素排出量 Kg-co ₂
本社	中国	0.728	118,474	86249.072
邑久	中国	0.728	309,576	225371.33
藤田	四国	0.728	34,181	24883.768
四国	四国	0.326	8,192	2670.592
松山	四国	0.326	12,171	3967.746
鳥取	中国	0.728	24,362	17735.536
米子	中国	0.728	19,870	14465.36
倉吉	中国	0.728	4,525	3294.2
姫路	関西	0.311	4,042	1257.062
豊岡	関西	0.311	23,277	7239.147
広島	中国	0.728	8,686	6323.408
九州	九州	0.385	11,763	4528.755
関東	東京	0.375	6,202	2325.75
合計			585,321	400311.73

2.2 環境目標

区分	項目	基準年	目標		
		2015年	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素排出量	総排出量の削減	711,570kg-CO2	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
			704,454kg-CO2	697,338kg-CO2	690,223kg-CO2
	電力の削減	589,909kwh	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
			584,010kwh	578,111kwh	572,212kwh
	ガソリンの削減	24,804L	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
			24,556L	24,307L	24,059L
	軽油の削減	94,193L	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
			93,251L	92,309L	91,367L
	灯油の削減	868L	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
			859L	850L	842L
廃棄物の削減		49.586t	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△25%
			49.090t	48.594t	48.098t
水使用量		1429 m ³	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
			1415 m ³	1400 m ³	1386 m ³
グリーン購入	グリーン購入の推進		前年より1種増加する	前年より1種増加する	前年より1種増加する
化学物質の管理	化学物質の適切な管理	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認	管理状況の確認
		1回/四半期	1回/四半期	1回/四半期	1回/四半期
従業員への環境に対する教育	教育訓練の実施	1回/月部署ミーティング実施	1回/月部署ミーティング実施	1回/月部署ミーティング実施	1回/月部署ミーティング実施
		1回/3ヶ月全体ミーティング実施	1回/3ヶ月全体ミーティング実施	1回/3ヶ月全体ミーティング実施	1回/3ヶ月全体ミーティング実施
製品への環境配慮の推進	製品加工のロスミス削減	金属クズ	基準年度比△1%	基準年度比△2%	基準年度比△3%
		212,545kg	210,420kg	208,294kg	206,169kg

3.環境活動取組結果の評価と次年度の取組内容

3.1 環境目標と取組実績

項目	基準年実績	目標値	実績	達成度
CO2 排出量削減	711,570kg-CO2	704,454kg-CO2	663,121kg-CO2	106%
電力使用量	589,909kwh	584,010kwh	538,110kwh	108%
ガソリン使用量	24,804L	24,556L	26,108L	94%
軽油使用量	94,193L	93,251L	88,747L	105%
灯油使用量	868L	859L	761L	112%
(主な活動内容)				
・エコドライブ（アイドリングストップ等）徹底				
・冷暖房温度器具の適温設定				
・未使用時の消灯および電源切				
・作業効率向上				
・空調機については、フィルターの定期的な清掃				
(評価と次年度の取組内容)				
結果：ガソリン使用量以外は基準値、目標値達成。				
評価：エコドライブの推進、また冷暖房の温度管理の徹底が不十分であったように感じる。				
次年意識して活動していきたい。				
次年度の取組内容：				
・エコドライブ（アイドリングストップ等）徹底				
・冷暖房温度設定の管理、フィルター清掃				
・未使用時の消灯および電源切				
・作業効率向上				

項目	基準年実績	目標値	実績	達成度
廃棄物の削減	49.586t	49.090t	239.677t	20%
(主な活動内容)				
・ ゴミの分別収集の徹底、継続				
・ 梱包材の再利用				
・ 資源ゴミのリサイクル推進				
・ コピー用紙裏紙再利用				
(評価と次年度の取組内容)				
結果： 基準値、目標値未達成。				
評価： 基準値、目標値ともに大幅に超えている。ごみ削減に対する行動の見直し、改善が必要。				
次年度の取組内容：				
・ ゴミの分別収集の徹底、継続				
・ 梱包材の再利用				
・ 資源ゴミのリサイクル推進				
・ コピー用紙裏紙再利用				
・ 試し折の削減				

項目	基準年実績	目標値	実績	達成度
水使用量	1,429 m ³	1,415 m ³	1,243 m ³	113%
(主な活動内容)				
・ 節水の呼び掛け				
・ 水道圧を抑え節水				
・ 手洗等の水出しっぱなし無きよう指導徹底				
(評価と次年度の取組内容)				
結果： 基準値、目標値ともに達成。				
評価： 営業所、工場での節水が徹底できていなかった。内部監査をおこない現状を把握し指導していきたい。				
次年度の取組内容：				
・ 節水の徹底				
・				

項目	
従業員への環境に対する教育	教育訓練の実施
(主な活動内容)	
・ 1回/3ヶ月 部署ミーティングの実施	
・ 1回/6ヶ月 全体ミーティングの実施	
・ 緊急事態対応訓練	
・ 内部監査の実施	
(評価と次年度の取組内容)	
評価：ミーティングの実施ができていない。	
次年度の取組内容：	
・ 今年度の内容を継続して実施	

項目	基準年実績	目標値	実績	達成度
製品加工のロスミス削減（金属クズ削減）	212,545kg	210,420kg	214,545kg	98%
(主な活動内容)				
・ ロスミスの撲滅				
・ 試し折の削減				
・ 環境に配慮した原材料、副資材使用推進				
(評価と次年度の取組内容)				
結果：基準値、目標値ともに未達成。				
評価：削減への意識はしているが、数値に反映できていない。行動の見直しを各工場で行い改善していく。				
次年度の取組内容：				
・ ロスミスの撲滅				
・ 試し折の削減				
・ 環境に配慮した原材料、副資材使用推進				

5. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反の指摘は、過去3年間ありません。

法規制等の名称	該当する要求事項	関連条例による規制	該当する設備・項目	関連部門	順守評価
					判定
廃棄物処理法	・収集業者の許可証確認（写し保管）	分別排出	一般廃棄物（紙くず、木くず）	管理	○
	<ul style="list-style-type: none"> ・保管基準 60cm×60cm 以上表示 飛散・浸透防止、衛生管理 ・収集運搬・処理業者との契約、許可証写し保管（5年間以上） ・マニフェスト交付 B2、D、E 票の保管（5年間） B2、D 票 90 日、E 票 180 日以内に送付されない場合は 30 日以内の知事への報告 ・自社による運搬時の表示、書類携行 		産業廃棄物（廃プラ、廃油）	販売 製造 管理	○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届出 油圧プレス、機械プレス、空気圧縮機などの特定施設 ・規制基準の遵守 	岡山県条例 <ul style="list-style-type: none"> ・油圧プレス（矯正プレスを除く） ・機械プレス（呼び加圧能力 294KN 以上） ・せん断機（原動機定格出力 3.75KW 以上） 	<ul style="list-style-type: none"> ・油圧プレス 1 台 ・せん断機 1 台 	製造 管理	○
振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定施設の届出 油圧プレス、機械プレス、空気圧縮機などの特定施設 ・規制基準の遵守 	岡山県条例 <ul style="list-style-type: none"> ・油圧プレス（矯正プレスを除く） ・機械プレス（すべて） ・せん断機（原動機定格出力 1KW 以上） 	<ul style="list-style-type: none"> ・油圧プレス 1 台 ・機械プレス 2 台 ・せん断機 1 台 	製造 管理	○

6. 代表者による全体の評価と見直し記録

様式：K13-01

代表者による全体の評価と見直し記録 実施日：2017年4月15日				代表者 三宅	環境管理責任者 山本																					
				<input checked="" type="checkbox"/> 定期見直し（事業年度終了後） <input type="checkbox"/> 臨時見直し																						
見直しに必要な情報 管理責任者の報告及び改善への提案				代表者による見直し 変更の必要性の有無・指示事項																						
【取り組み状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の順守状況（環境関連法規等順守記録による） ・28年3月26日に定期評価を実施した結果順守されている ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 教育訓練の実施（ミーティング）ができていない ④前回までの代表者の指示事項への対応 組織体制 整備 <改善への提案>				【環境方針】 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無																						
【目標・環境活動計画の達成状況】 （詳細は環境活動計画書による）				【目標・活動計画】 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>活動計画 実施状況</th> <th>コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CO2の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>概ね達成できた</td> </tr> <tr> <td>廃棄物の削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>概ね達成できた</td> </tr> <tr> <td>総排水量の削減</td> <td>△</td> <td>△</td> <td>僅かに未達だった</td> </tr> <tr> <td>製品への環境配慮</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>未達だった</td> </tr> <tr> <td>教育・訓練の実施</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>一部 未実施</td> </tr> </tbody> </table>	目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)	CO2の削減	○	○	概ね達成できた	廃棄物の削減	○	○	概ね達成できた	総排水量の削減	△	△	僅かに未達だった	製品への環境配慮	×	△	未達だった	教育・訓練の実施	×	△	一部 未実施		
目標項目	目標値 達成状況	活動計画 実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)																							
CO2の削減	○	○	概ね達成できた																							
廃棄物の削減	○	○	概ね達成できた																							
総排水量の削減	△	△	僅かに未達だった																							
製品への環境配慮	×	△	未達だった																							
教育・訓練の実施	×	△	一部 未実施																							
<改善への提案> 組織体制の改善				【その他】 変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無																						
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 特になし ②環境関連法規制等の動向他 なし				【総括】 （環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載） CO2削減については目標値・活動実施とも概ね達成できた。 しかしながら、昨年達成出来ていた廃棄物削減が今回未達成であった。 昨年度実績と比較して今回の排出実績が大幅に増加しているため 原因を調査し、行動の見直し・改善を行っていく。 また、教育訓練については昨年同様できていないので 組織体制を早急に見直し、実施していく。																						
代表者が自ら得た情報																										
特になし																										

保管：環境事務局